



東京医科歯科大学医学部附属病院の理念と基本方針
●理念：安全良質な高度・先進医療を提供しつづける、社会に開かれた病院
●目標：1. 患者中心の良質な全人的医療の提供
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 高度先進医療の開発と実践
4. 国民のニーズに応える開かれた病院

医療連携支援センター TEL: 03-5803-4655 (地域連携室) FAX: 03-5803-0119



財団法人日本医療評価機構 認定病院

当センターに2019年度より着任したスタッフからのメッセージをご紹介します



山田 徹 (やまだ とおる)
◆副センター長
2019年4月より、医療連携支援センター副センター長を拝命いたしました。これまでは福岡県の麻生飯塚病院、千葉県の東京ベイ浦安市川医療センターなどの市中病院に16年間勤務しておりました。大学病院、しかも都心の大きな病院での勤務は2019年4月からですので、院内の各診療科との連携などについて一日も早く理解を深めて、地域医療機関の皆様や患者さんのお役に立てるように努めます。これまでの経験を生かし、大学病院側の視点と、市中病院側の視点の両方を意識しながら、お互いのニーズをすり合わせ、東京医科歯科大学を中心とした、より活発な地域医療連携の発展のお手伝いをさせていただければと思います。皆様ご指導のほど、よろしくお願いいたします。



- ① 成田 美千子 (なりた みちこ)
◆医療福祉支援室 看護師
新たな部署で皆様のお役に立てるように、頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。
- ② 五位野 美穂 (ごいの みほ)
◆医療福祉支援室 SW
当室では、医療費や療養中のお悩みや退院支援などのご相談に対応しています。患者さんの安心した生活をサポートできるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

- ③ 中山 美優 (なかやま みゆ)
◆地域連携室
スムーズかつ丁寧に予約業務を行い、患者さんが安心して受診できるように精一杯努めさせていただきます。よろしくお願いいたします。
- ④ 大平 咲喜 (おおひら さき)
◆入院支援室
初めてのことで不安もありますが、スムーズな入院・転院ができるように頑張ります。
- ⑤ 望月 文絵 (もちづき ふみえ)
◆地域連携室
地域医療機関とのスムーズな連携を心掛け、1日も早く患者さんのお役に立てるよう、精一杯頑張ります。

救急プライオリティーコール (医療機関からのお問い合わせのみ)

近隣地域の医療機関の皆様とより密接な連携を構築するために、救急専門医・専従医が24時間365日対応する「救急プライオリティーコール」を開設しています。

03-5803-4900 (至急応援)

メールマガジンにご登録ください!

医療連携支援センターでは、メールマガジンを発行しております。当院ホームページより医療連携支援センターにアクセスし、オレンジ色の「メルマガ申込」からご登録ください。

医療機関からの初診事前予約について お問い合わせ先 03-5803-4655 (地域連携室)

FAX 予約の場合 FAX: 03-5803-0285 (受付時間 8:30 ~ 16:00)

上記番号に、紹介状・申込書を送信してください。速やかに当院よりFAXで「外来診療予約票」を返信します。

*土日祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)、および受診当日の予約は受け付けておりません。また、翌日分の予約は14時までとなっております。
*時間外・休日などの申込みは翌診療日にご連絡させていただきます。(FAX受信は24時間可能)

電話予約の場合 TEL: 03-5803-4655 (受付時間 8:30 ~ 16:00)

上記番号に、電話をおかけください。その際に患者さんの氏名・生年月日・希望診療科名・予約希望日をお知らせください。

カルテ閲覧のご案内

当院と連携協定を結んでいる医療機関様に限り、地域連携システムを利用して、当院カルテの閲覧が可能になります

連携医療機関様の大きな負担なしで利用可能です
インターネットに接続できるパソコンが1台あればOK!
上記の要件を満たしていれば、既存の端末を使用しても構いません。

- 要件**
- ① インターネットに接続できる環境があること。また、PCの設置場所は施錠できる環境にあること。
 - ② Microsoft Windows Vista/Windows 7 以上の動作環境にあるPCを使用すること。
 - ③ Internet Explorer 7.0 以上が動作すること。
 - ④ 有償のウイルス対策ソフトを実施し、Winnyなどのファイル共有ソフトを削除すること。
 - ⑤ PDFファイルの閲覧には Adobe Reader 10 以上を使用すること。

- ★これらの要件を満たしていれば、申込みいただけます!
1. 申請書の提出。
 2. 提出いただいたのち、接続させていただけるか検討いたします。
 3. 決定後、順次連携医療機関様へ伺って、接続を行います。
- ※申込み多数の場合は、利用するまでにお時間がかかる場合がございます。

連携協定及びカルテ閲覧の申込み 医療連携支援センター 03-5803-4391

医療連携だより



東京医科歯科大学
医学部附属病院
医療連携支援センター長
(病院長補佐)
泉山 肇 (いずみやま はじめ)

日頃より、本院との地域医療連携に対し格別なご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

入院前からの退院支援を行う医療機関が増えてきております。本院でも入院加療が決まった際、本センター看護師が患者さんと面談をして事前に情報収集を行います。と同時に、事務員より入院に関する費用等の説明を行っております。必要に応じて薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーも同日面談を行い入院時あるいは退院時に患者さんが困らないよう、さらにはスムーズな社会復帰ができるよう取り組んでおります。

先日、「心不全の在宅医療：急性期病院からの円滑な移行に地域病院が担う役割」と題した講演を拝聴する機会がございました。慢性心不全の患者さんが再入院を繰り返さない取り組みに関する発表で、大変素晴らしい成果を上げられておりました。

大学病院では数ヶ月間隔の外来になりがちです。タイトな外来診察が望ましい慢性疾患(心不全のみならず)の患者さんを病診・病病連携を通じて地域につなげることが患者さんにとってとても大切で、積極的に取り組むべきことと考えております。

地域医療機関の皆様におかれましては、これまで以上のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



TOPICS

- 医療連携支援センター長の挨拶
- 循環器内科のご紹介
 - ・循環器内科
 - ・不整脈センター
- 再編成した部局のご紹介
 - ・がん先端治療部
 - ・難病診療部
- 診療科・専門外来のご紹介
 - ・周産女性診療科
 - ・胃外科
 - ・消化器内科
 - ・血管内治療科
 - ・泌尿器科～尿失禁・膀胱子宮脱専門外来～
- 新任教授・部長のご紹介

医療連携支援センターの役割

- 紹介患者さんのスムーズな受け入れ
- 医療機関からの初診事前予約受付
- 入院・退院患者さんと
そのご家族のサポート
- その他の医療・福祉相談



循環器内科のご紹介



循環器内科では、虚血性心疾患・不整脈疾患・心不全・大動脈疾患血管疾患に幅広く対応し、不整脈については不整脈センターを中心として診療にあたっております。虚血性心疾患についても多くのインターベンションを行っており、光干渉トモグラフィーや生理学的評価を用いた診療を推進しております。高安動脈炎・心臓サルコイドーシスなどの稀少・

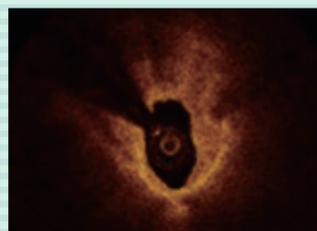
難治性疾患についても数多くの症例を診療しております。また臨床に還元できるトランスレーショナルな研究も行い、不整脈については遺伝子多型やバイオマーカーを用いた心房細動発症予測などの先制医療や医工連携によるモニタリングを、心不全に対しては新しい薬物治療の試みなどを推進しております。

循環器内科

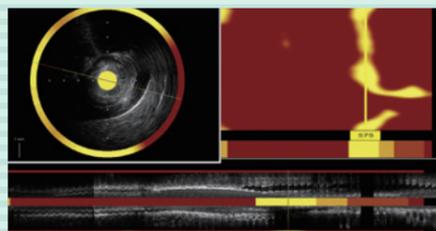


科長・教授
笹野 哲郎
(ささの てつお)

冠動脈疾患に対して、薬剤コーティングバルーンやステントによる治療の成績を向上させるため、ロータブレードやエキシマレーザー、ダイヤモンドバック、方向性冠動脈粥腫切除術等を用いた血管形成術を併せて行っております。不整脈疾患については、心房細動・心房粗動・発作性上室頻拍・心室頻拍など種々の頻脈性不整脈に対して高周波・冷凍凝固・レーザーなどの技術によるカテーテルアブレーションを行うと共に、植え込み型除細動器・ペースメーカーなどの植え込み型デバイスによる治療を得意としております。さらに、左心耳閉鎖システムによる心房内血栓の予防も開始いたします。また、画像診断による心機能の評価・血栓形成傾向の評価などに積極的に取り組んでおります。



光干渉断層法(左)と近赤外線スペクトロスコピー(右)で観察した冠動脈病変血管内イメージングデバイスを用いて病変の性状を詳細に観察することにより、不安定プラークの同定や最適な治療方法の選択が可能となります。



CARTO (カルト) システム画像(左心房・僧帽弁輪を反時計回りに旋回する心房頻拍)

がん循環器外来

国民の二人に一人はがんになる時代です。また、近年のがん治療の進歩により予後が大幅に改善した結果、“がんサバイバー”が増加しており、がんと心疾患を合併する患者さんも増えております。このような背景を踏まえて、がん患者さんとがんサバイバーの方の生命予後ならびにQOL改善を充実させる目的で、「がん循環器外来」を開設いたしました。

がん患者さんで心血管疾患のリスクが高い方の評価・治療や、がんに対する化学療法・放射線治療に関連した心血管障害の診療、がんに合併する血栓症の診療などに力を入れてまいります。対象となる患者さんがいましたらご紹介いただければ幸いです。

不整脈センター



センター長・准教授
合屋 雅彦
(ごうや まさひこ)

心房細動やその他の不整脈疾患に関するカテーテル心筋焼灼術(カテーテルアブレーション)は年間症例数が500症例を超え、豊富な経験を有しております。ペースメーカーや植え込み型除細動器などを用いた心臓植え込みデバイス治療や感染症例に対するリード抜去術、遺伝性不整脈疾患など、あらゆる不整脈疾患に対応可能となっております。小児科・心臓血管外科・麻酔科など各科と連携し『不整脈ハートチーム』をもって、小児不整脈疾患に対する治療や、開胸下アブレーション、リード抜去術等を行っております。本センターで対応不可能な不整脈疾患はございません。お困りの症例はいつでもご紹介ください。不整脈疾患の臨床・研究・教育に関し拡大発展を目指し、患者さん、大学および地域に貢献いたします。



カテーテルアブレーション、ペースメーカー留置術、リード抜去術等をチームで行っております。

再編成した部局のご紹介



がん先端治療部

部長・教授 三宅 智 (みやけ さとし)

本院にはこれまで、がん診療に関わる横断的部門を包括する部署がありませんでした。そこで「がん先端治療部」を新設し、包括的がん診療を円滑に行う運営、マネジメントを担当いたします。特に乳がん治療を行う「プレストセンター」(乳腺外科・講師 中川剛士)のほか、「腎・膀胱・前立腺がんセンター」(泌尿器科・教授 藤井靖久)、「みみ・はな・くち・のがんセンター」(頭頸部外科・教授 朝蔭孝宏/耳鼻咽喉科・教授 堤剛)の3センターを新設し、複数診療科による包括的ながん治療を行います。最近のがん診療の進歩は目覚ましいものがありますのでタイムリーな対応を心掛けてまいります。

難病診療部

部長・教授 森尾 友宏 (もりお ともひろ)

難病診療部は、膠原病・リウマチ先端医療センター、潰瘍性大腸炎・クローン病先端医療センター、神経難病先端医療センター、稀少疾患先端医療センターの4つのセンターに再構成されました。今回稀少疾患先端医療センターが加わることにより、より広汎な疾患にチームとなって対応できるようになりました。ゲノム解析や先端的画像解析、そして先端医療などを提供することにより、日本を先導する最高レベルの診療を提供したいと考えております。

診療科・専門外来のご紹介



周産女性診療科

科長・教授 宮坂 尚幸 (みやさか なおゆき)

現在当科で需要の高い分野は、様々な基礎疾患を有する合併症妊娠で、それぞれの担当診療科と緊密に連携をしながら対応しております。特に精神疾患合併妊娠については、毎週精神科の医師、リエゾンチームとカンファレンスを行って対応しております。また、社会的な支援が必要な妊婦さんについても、当科、小児科の医師、助産師、MSWなどが集まって毎週カンファレンスを行い、対応しております。さらに不妊班とも緊密に連携し、体外受精後のシームレスな診療(出生前診断も含めて)をしております。合併症妊娠・不妊治療などご相談ください。



胃外科

科長・准教授 徳永 正則 (とくなが まさのり)

胃がんに対する低侵襲手術(腹腔鏡・ロボット手術)に力を入れております。保険診療でロボット手術も可能です。早期胃癌から進行癌までベストの治療を提供することをお約束いたします。

消化器内科

科長・准教授 土屋 輝一郎 (つちや けいちろう)

最先端の研究に基づいた最新の質の高い医療を提供しながらも、患者さんに寄り添ったわかりやすい診療を心がけて消化器疾患全般の診療を行っております。とくに、難病の炎症性腸疾患、肝疾患(肝炎・肝臓癌)、小腸疾患を専門にしております。炎症性腸疾患ではMRIや小腸内視鏡を用いて独自に確立した診断法で病状を把握し、多くの治験を駆使した治療など最先端の医療を行っております。肝疾患に関しても造影エコー検査による正確な診断や肝臓癌のラジオ波凝固療法など最新の低侵襲治療を行い、小腸疾患もカプセル内視鏡や小腸内視鏡などの特殊内視鏡による診断・治療が可能となっております。

血管内治療科

科長・講師 壽美田 一貴 (すみた かずたか)

治療困難な脳、頭頸部、脊髄の血管病変に対してカテーテルを用いて治療を行っております。脳動脈瘤、脳動脈瘤奇形、硬膜動静脈瘻、頸動脈狭窄症などの疾患が中心で、特に巨大脳動脈瘤に対する最新の治療であるFlow diverter (PIPELINE) を使用した治療件数が増加しております。開頭手術で治療困難な場合や、患者さんが血管内治療を希望された場合などお気軽にご相談ください。

泌尿器科 ~尿失禁・膀胱子宮脱専門外来~

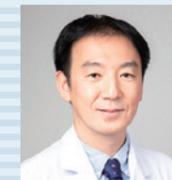
講師 横山 みなと (よこやま みなと)

骨盤底筋訓練やペッサリーなどの保存的治療や薬物療法の効果が不十分で手術が必要と考えられる、前立腺全摘除後に生じる重症男性尿失禁や女性腹圧性尿失禁、膀胱子宮脱(骨盤臓器脱)などに対して専門的な診療を行っております。実施施設が比較的少ない、男性重症尿失禁に対する人工尿道括約筋植込術や、膀胱子宮脱(骨盤臓器脱)に対する腹腔鏡下仙骨脛固定術も対応可能です。主に人工尿道括約筋植込術、腹腔鏡下仙骨脛固定術、TVM手術、中部尿道スリング手術(TVT手術・TOT手術)を提供しております。

新任教授・部長のご紹介



精神科



科長・教授
高橋 英彦 (たかはし ひでひこ)

難治例には、高度で専門的な治療(電気痙攣療法やクロザピン)を提供しております。診断に苦慮する例には、画像検査・心理検査などを包括的に行う検査入院も受け入れております。救命救急センターや他の診療科との密な連携により、リエゾンも活発で身体合併例も数多く診察しております。新しい取り組みとしては、最近WHOからも疾病と認定されたネット依存・ゲーム依存の専門外来を開設いたしました。

国際医療部

部長・特任講師
岡田 卓也 (おかだ たくや)

本院の外国人患者受け入れ数は全国的にもトップクラスで、救命救急センターをはじめとした各診療科、医療支援課、医事課、医療連携支援センター等との協力で、外国人患者さんに安心・安全に医療サービスを提供しております。我が国の外国人診療のモデル病院となるべく、教育・研究や啓発活動にも取り組んでおりますので、医師会や勉強会への講師派遣についてもぜひご相談ください。